

総合評価方式における地元企業評価について

1 地域要件

(1) 県発注工事では建設事務所管内を最小単位とし入札に参加できる業者の地域を以下の4つに区分し入札を執行している。

地域要件	対象地域
管内	建設事務所管内
隣接3管内	工事箇所の建設事務所管内を中心に隣接する3管内
県内	県内一円
全国	全国一円



(2) 地域要件は発注種別毎に設計金額に応じて設定している。

一般土木工事	
設計金額	地域要件
1億円以上	県内
3千万円以上1億円未満	隣接3管内
3千万円未満	管内

舗装工事	
設計金額	地域要件
2千万円以上	県内
5百万円以上2千万円未満	隣接3管内
5百万円未満	隣接3管内

2 地域要件に応じた地元企業評価

総合評価の評価項目である「地域社会に対する貢献度」のうち、『**入札参加者所在地、ボランティア、消防団、災害出動、新卒・離職者雇用、雇用維持、除雪・維持補修**』については、地元企業の落札機会確保の観点から地域要件に応じて評価対象管内を限定している。

※別紙「評価項目及び配点」参照

地域要件	評価対象となる所在地
管内	土木事務所管内
隣接3管内	建設事務所管内
県内	
全国	県内



【県北建設事務所管内の土木事務所】

3 入札参加者の所在地別加算点最高獲得点

【シミュレーション条件】

工事箇所：二本松市内 発注種別：一般土木 総合評価類型：特別簡易型

類型	設計金額(想定)	地域要件	地域貢献評価対象管内	入札参加者所在地		
				二本松市内業者【同一土木】	福島市内業者【同一建設】	猪苗代町内業者【他建設】
特別簡易型	2千万円	管内	二本松土木事務所管内	10.25	5.5	参加不可
	4千万円	隣接3管内	県北建設事務所管内	10.25	9.75	5.5

地域要件に応じて地元企業が有利となるようなしくみ

4 落札者の決定方法(総合評価の方法)

①標準点(100点)に評価項目毎の加算点を加え、合計を『評価点(A)』とする。

$$\text{評価点(A)} = \text{標準点(100点)} + \text{評価項目毎の加算点}$$

②評価点(A)を入札参加者の入札額(B)で割った値を『評価値』とし、値の高い順に順位を決定。

$$\text{評価値} = \left(\frac{\text{評価点(A)}}{\text{入札額(B)}} \right) \times 10,000,000$$

※10,000,000は評価値を見やすくするため。

注) 入札額(B)が評価基準価格(予定価格の87~92%で設定)を下回った場合には、入札額ではなく評価基準価格で割って評価値を算出する。

5 総合評価方式加算点1点に対する落札額の差

【シミュレーション条件】

特別簡易型 予定価格：49,000千円 評価基準価格 44,100千円(予定価格の90%と想定)

No	入札参加者	加算点	評価点(A)	入札額(税抜き)(B)	落札額(税込み)	評価値(A/B)	落札率	備考
1	他建設管内業者	5.5	105.5	40,833,334	44,100,000	25.8367	90.0%	加算点:他建設管内の満点 入札額:低入札価格
2	同一市町村業者	10.25	110.25	42,671,693	46,085,428	25.8368	94.1%	

加算点満点

地元企業は加算点満点獲得できれば94%での落札可能

※加算点1点に対する落札額の差

$$1,985,428 \text{円} \div 4.75 \text{点} = 417,984 \text{ (円/点)} \text{ 【予定価格の0.85%】}$$